

京都市都市緑化推進功労者表彰 陵ヶ岡学区自治連合会が受賞

平成26年10月30日(木)、市民・事業者の皆様との協働による緑豊かなまちづくりの一環として、住宅や事業所、公共公益施設等で緑化を推進するなど緑のまちづくりへの業績が顕著であるとして、陵ヶ岡学区自治連合会が「京都市都市緑化推進功労者」に選ばれ、京都市役所で行われた表彰式で感謝状を授与されました。

陵ヶ岡学区自治連合会では、

平成15年頃から続けられてきた陵ヶ岡地域女性会による植栽活動を引き継ぎ、地下鉄御陵駅周辺の三条通歩道脇の植樹ますにマツバギクなどの花を植栽されています。定期的な水やりや花の見守り活動により、三条通が花で潤いのある美しい街並みとなっています。

●問い合わせ先／区まちづくり推進担当(☎592-3088)



生活安全 スポーツコース

～樹辻交番が一時閉鎖されます～

来春、樹辻交番は女性警察官による24時間対応可能な交番として運用を開始する予定です。そのため1月から2月までの間の内、約4週間、当交番を一時閉鎖し、改修工事を行います。

閉鎖中は、パトカーや隣接交番等によるパトロールを強化するなど、事件・事故等への対応に万全を期すことといたします。近隣住民の方々には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解をよろしくお願いいたします。

●問い合わせ先／山科警察署
(☎575-0110)

市チヤンピオン大会 (女子バレーボール)

百々体振チームが3位に！

平成26年11月16日(日)に、ハナナリーズアリーナで開催された同大会に、山科区からは、9月に開催した「山科区民チヤンピオン大会」で優勝した百々チームと準優勝した大塚チームが出場しました。百々チームは準決勝戦、大塚チームは2回戦まで進出したが、惜しくも敗れました。

日ごろの練習で培われたチームワークの良さが光る両チームの今後の活躍が期待されます。

●問い合わせ先／区まちづくり推進担当(☎592-3088)

かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト アンケートにご協力をお願いします

クルマは大変便利なものですが、皆がそう考えるので、結局「渋滞」が起こってしまいます。

この度、市内でも特に渋滞の激しい「山科区の五条通(国道1号)」の渋滞問題を考えるために、アンケート調査を行うことになりました。

アンケートにご協力いただいた方には、もちろん鉄道やバスを使ったお出かけのための「お出かけマップ」(山科駅版、東野駅版、樹辻駅版、小野駅版のうちご希望のものいずれか)を差し上げます！ぜひ、右記方法でお申し込みいただけますよう調査へのご協力、よろしくお願いいたします。

- 対象／普段からクルマを運転する方で五条通(国道1号)を利用する方。
- 申し込み期限／1月31日(土)
- 申し込み方法／電子メールの件名に「かしこいクルマの使い方」と記載し、本文に①氏名、②アンケート送付先の住所、③希望する「お出かけマップ」の種類を記載して次のアドレス(otayori-kyoto@kkr.ml.it.go.jp)に送付するか、問い合わせ先にお電話でお申し込みください。
- 申し込み・問い合わせ先／国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所調査課かしこいクルマの使い方担当(☎351-3300)



第2回「山科区民まちづくり会議」を開催しました

平成26年12月4日(木)、山科のまちづくりについて議論する「山科区民まちづくり会議」の今年度第2回目が開催されました。主な内容は次のとおりです。

(会議の詳しい内容は、区役所ホームページをご覧ください)

- 次年度の山科区「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」について
- 第2期山科区基本計画の実施状況に係る取組の

会のきっかけは、中村さんをお願いしていたファミリーサポートの中西さんの子育て中の親が集まれる場所を作りたいという思い。「今は実家が遠かったり忙しすぎたりして、しんどい思いをしているお母さんが多いです。特に子どもが小さいうちは孤立しがちで、おしゃべりできるような場所が必要です。」7月に中村さん、中西さんと一緒に始め、七夕、地藏盆、お月見など、季節に合わせたイベントも企画してきました。参加者は主に口コミでつながった方です。

参加者の最初は孤独で、親同士が話せる場をすくく求めていました。参加者が一緒に作って食べる機会は他にはなく、とても楽しんでいます。同じものを食べるのっていいですね。「2人子どもがいると下の子に手が取られて上の子を自由に遊ばせられないんですが、ここでは他の人がいて助かります。幼稚園のことを先輩ママに聞ける

第29回 みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう！ 区民活動きずなリレー

おむすびをにぎって、つながりづくり ～おむすびの会～
(山科「きずな」支援事業補助金交付事業)

美しく色づいた木々に囲まれた若宮八幡宮。境内にある公会堂では「おむすびの会」が月に2回開かれ、小さな子どもたちとお母さん、お父さんたちが、一緒に「おむすび」をにぎり、お昼ごはんを食べ、ゆっくりにした時間を過ごしています。

取材に伺った日の参加者は総勢約20人。3種類のおむすびがお皿に並び、味噌汁が作られていました。「手の空いている人が進めてくれるんですよ。食器や調理道具の場所もすっかり覚えていただいて」と、会を立ち上げた中村さん。「子どもが小さい時は目が離せなくて、お昼ご飯を食べさせるのもひと苦労です。こうやってみんなで用意してみんなで食べれば、ひとりではしんどいことも楽しくできます。」

会のきっかけは、中村さんをお願いしていたファミリーサポートの中西さんの子育て中の親が集まれる場所を作りたいという思い。「今は実家が遠かったり忙しすぎたりして、しんどい思いをしているお母さんが多いです。特に子どもが小さいうちは孤立しがちで、おしゃべりできるような場所が必要です。」7月に中村さん、中西さんと一緒に始め、七夕、地藏盆、お月見など、季節に合わせたイベントも企画してきました。参加者は主に口コミでつながった方です。

参加者の最初は孤独で、親同士が話せる場をすくく求めていました。参加者が一緒に作って食べる機会は他にはなく、とても楽しんでいます。同じものを食べるのっていいですね。「2人子どもがいると下の子に手が取られて上の子を自由に遊ばせられないんですが、ここでは他の人がいて助かります。幼稚園のことを先輩ママに聞ける

自治会・町内会に入って 住みよいまちに

～自治会・町内会は、まちと人を守っています～

京都市は「地域コミュニティ活性化推進条例」を制定し、自治会・町内会を中心とする地域活動を応援しています。

●問い合わせ先／市地域自治推進室内地域コミュニティサポートセンター
(☎222-3098)



にぎやかな食卓です！